



①



②



③

① おなじみの赤い自転車で登場した新本さん ② オープニングを飾った豊川豊年餅つき踊り ③ 地域づくりの事例を発表する宮川さん

— 4年ぶりに開催 400人が参加した宇城地区社会教育・公民館研究大会 — ふるさとを愛する地域づくりを学ぶ

7/28 ウイングまつばせ文化ホールで、地域づくりをテーマにした「地域の絆 in 宇城」が4年ぶりに開催。生涯学習の観点から「人づくりやつながりづくり・ふるさとを愛する地域づくり」を推進するための講演と事例発表が行われました。講演ではトタン屋根のケーキ屋ア・ラモート代表の新本高志さんが自らの経験を通し、人

と人とのつながりについて語りました。また、(有)宮川洋蘭、(株)イノP代表の宮川将人さんが、地域づくりの事例を発表。洋ラン農家や農家ハンターとして地域と関わる活動について話しました。オープニングでは、豊川豊年餅つき踊りが披露され、ユーモラスな踊りで会場には笑顔が広がりました。



染め上がった世界に1つだけの作品を披露

— 市公民館主催講座で草木染めを体験 — 自然が生み出す色彩の楽しさ

8/2 豊野防災拠点センターで草木染め講座を開催しました。講師は、地元の草木染め作家の熊谷美治さん。市内の小学生から大人まで15人が参加し、シルクや綿でできたネックウォーマーなどをアカネの根を煮出した染色液で染めました。受講者は「染める物によっても色が変わるので面白かった。」と喜んでいました。



理学療法士からレッスンを受ける参加者の皆さん

— 小川支所で官民連携の生活習慣病対策 — ヨガで気軽に健康づくり

7/29 イオンモール宇城、桜十字熊本宇城病院、市が協働し、「カラダ喜ぶ！やさしいウキヨガ」を小川支所で開催しました。これは、市が進める生活習慣病対策の一環。同院の理学療法士が初心者向けにヨガレッスンを行いました。参加者からは「家でも続けられそうな内容でとても良かった。」と好評を得ました。

市ホームページには、
たくさんの写真と詳しい
内容を掲載しています。



ま ち の わ だ い
T O P I C S



(中央左から) (有)オカザキの柴田さん、宮本好代表取締役

— 宇城市優良若手技術者表彰式 — 市の公共工事を支える若い力

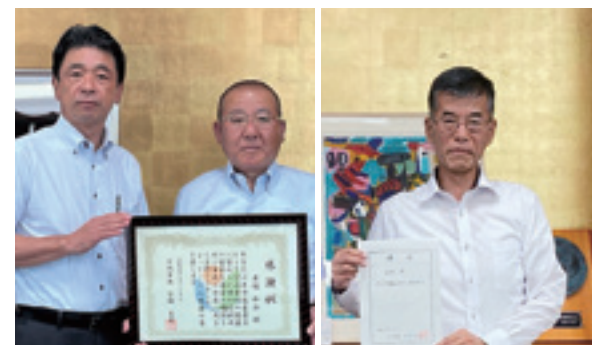
7/18 市役所で同式が行われ、(有)オカザキの柴田浩喜さん(29)を表彰しました。これは、市が発注した建設工事で、他の模範となる特に優良な工事の担当をした35歳以下の若手技術者を表彰するものです。柴田さんは「今後も、技術の研さんに努め、無事故・無災害で取り組んでいきます。」と語りました。



特別メニューの給食に舌鼓を打つ児童たち

— 世界文化遺産登録8周年を祝う特別メニュー — 給食から広がる世界遺産の魅力

7/6 自分たちの市にある世界遺産を知り、関心を持ってもらおうと大牟田市、荒尾市と3市合同で給食の献立を考案。石炭をイメージした「とり肉の石炭ごまみそがらめ」を市内小中学校の給食で提供しました。松橋小6年の村森海世さんは「三角西港はなぜ、世界遺産になったのかとても興味が湧きました。」と話していました。



(右) 退任した木村さん 新たに選任された元嶋さん

— 監査委員の退任・選任 — 市の行財政運営の健全化に貢献

7/27 木村和弘さん(65)が監査委員を退任し、守田憲史市長から感謝状が贈呈されました。木村さんは4年間監査委員として貢献。また、新たに元嶋茂さん(63)が監査委員に選ばれ、7月3日に辞令が交付されました。監査委員は、定期的に市の行財政を監査し、結果を市民や議会などへ情報提供しています。



(中央左から) 田嶋さん、西山さん

— 市の知名度向上に貢献した2人に感謝状 — 果樹生産拡大と若手後継者のために

7/24 市役所で田嶋訓さん(86)と西山孝喜さん(79)へ感謝状を贈呈。2人は、三角町大口地区の基盤整備で中心となって住民をまとめ、事業を成功へと導きました。これが国に評価され、令和4年度農業農村整備優良地区コンクールで農村振興局長賞を受賞。新聞でも報道され、市のイメージアップに大きく寄与しました。